

## 第 12 回国際メイラード反応シンポジウム

ホームページ : <http://www.imars.umin.jp>

会期 : 平成 27 年度 9 月 1 日 (火) ~4 日 (金)

会場 : 東京大学伊藤国際学術研究センター

(〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)

主催 : 第 1 2 回国際メイラード反応シンポジウム組織委員会、日本メイラード学会 (JMARS)

名誉委員長 : 谷口 直之 (理化学研究所機関研究所 教授)

組織委員長 : 宮澤 陽夫 (東北大学未来科学技術共同研究センター 教授)

### 開催概要

食品領域では、加工によってその付加価値を高めるために、菓子類、飲料、発酵・醸造食品などでこの反応の重要性が注目され、また生体では蛋白の AGEs 化が老化に伴って増加し、さらに生活習慣病、糖尿病合併症等の発症に伴って蓄積が促進することが報告されており、食品系、医薬系での研究がさかんになっています。本会は、我が国の健康長寿を支える産業の発展に学術面から大きく貢献しています。

Late Breaking Abstracts 募集 : 締切 平成 27 年 8 月 15 日

事前参加申込 : 締切 平成 27 年 6 月 30 日

会員 50,000 円、非会員 65,000 円

会員学生 10,000 円、非会員学生 25,000 円

参加申込 : 締切 平成 27 年 8 月 24 日

会員 60,000 円、非会員 75,000 円

会員学生 20,000 円、非会員学生 35,000 円

当日受付 : 会員 70,000 円、非会員 85,000 円

会員学生 30,000 円、非会員学生 45,000 円

### 開催概要

基調講演 : 森和俊教授 (京都大学)

Protein quality control by the unfolded protein response

基調講演 : 加藤久典教授 (東京大学)

Multi-omics approach for the elucidation of food functionality

医学・薬学系シンポジウム : Prof. Paul Thornalley (Warwick Medical School, UK), Prof. Vincent Monnier (Case Western Reserve University, USA), Prof. Mark E Cooper (Baker IDI Heart & Diabetes Institute, Australia), 谷口直之教授 (理化学研究所), Prof. Ram H Nagaraj (University of Colorado, USA)

農学・食品系シンポジウム : Prof. Vincenzo Fogliano (Wageningen UR, Netherlands), Prof. Varoujan Yaylayan (McGill University, Canada), Prof. Monica Pischetsrieder (Universität Erlangen, Germany), Prof. Thomas Henle (Technical University of Dresden, Germany)

若手奨励賞候補発表・一般口頭講演、ポスター発表（ポスター賞あり）、ランチョンセミナー（AGEsを用いた健康状態モニタリング）、機器展示等

問い合わせ先：第12回国際メイラード反応シンポジウム運営事務局  
株式会社 ICS コンベンションデザイン内  
Tel : 03-3219-3541 Fax : 03-3219-3577  
E-mail: ismr12@ics-inc.co.jp